

JANOG44 Hackathon Wrap-up

ハッカソン委員長(Hackathon co-Chairs)

- ・黒河内 倫 (シスコシステムズ合同会社)
- ・土屋 太二 (ファストリー株式会社)

JANOGハッカソン3回目となりました！！

- 日時:
2019年7月24日(水) 10:00～20:00 JST
(JANOG44 Day1)
- 開催場所:
神戸国際展示場 2号館 3階
- 参加者:
27名 + ハッカソン運営委員8名



ご協力いただいた皆様ありがとうございました！

- ハッカソン参加者のみなさま
- 会場環境をご提供いただいたアット東京さま
- 仮想ラボ環境を提供いただいたJPNICさま
- JANOG44スタッフのみなさま
- ハッカソン参加者を送り出してくれた会社のみなさま
- ハッカソンを応援してくださるすべてのみなさま

ハッカソンスタッフ

ハッカソン委員長(Hackathon co-Chairs)

黒河内 倫 (シスコシステムズ合同会社)

土屋 太二 (ファストリー株式会社)

ハッカソン委員(Hackathon Staff)

小島 慎太郎 (株式会社コーダンス)

佐藤 謙 (株式会社クラスアクト)

佐藤 秀樹 (一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター)

城田 雅水 (株式会社Jストリーム)

橋口 直弘 (株式会社IDCフロンティア)

ももいやすなり (株式会社インターネットイニシアティブ)

JANOG44 ハッカソンの 流れ

6月上旬~当日

ハッカソン参加者の募集

参加者からのハッカソンテーマの立案・議論

当日

時間	内容
10:00 - 10:30	Opening
10:30 - 11:00	テーマの提案・議論
11:00 - 18:40	ハッカソン
18:30 - 19:40	成果発表会
19:40 - 20:00	優勝グループ発表
20:00 -	懇親会

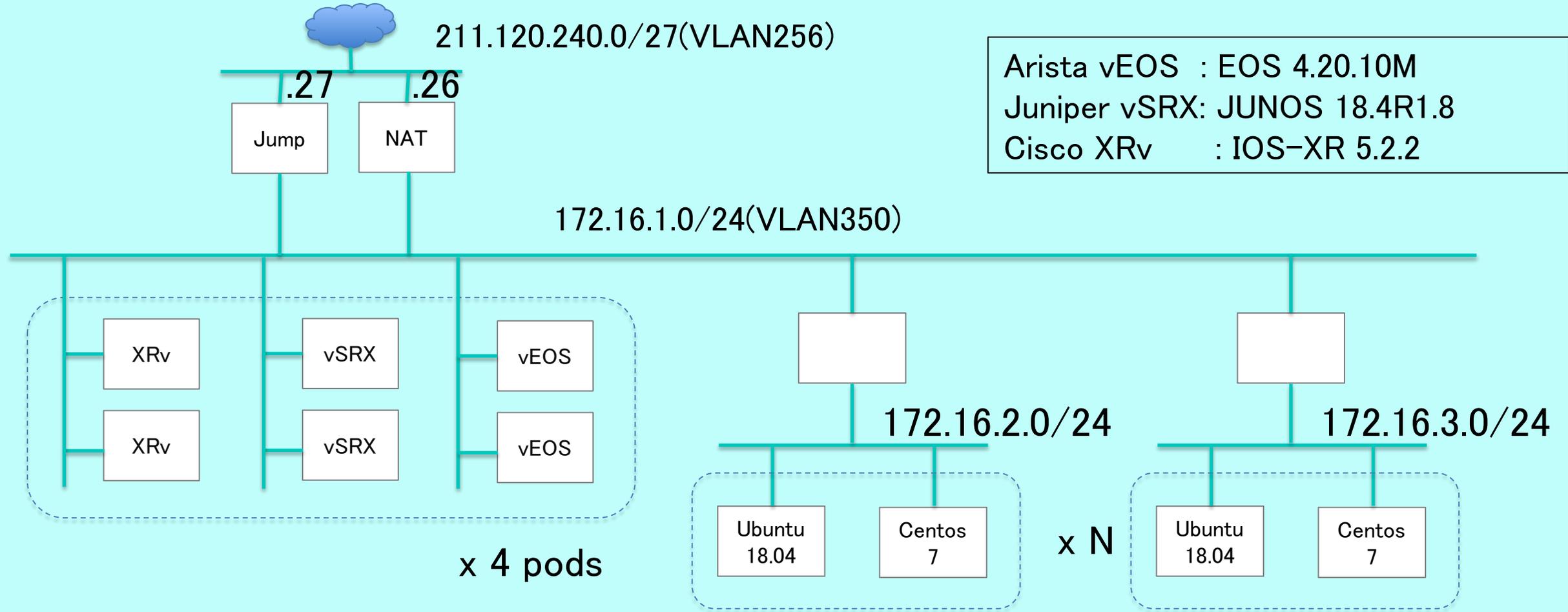
ハッカソンテーマ（全7テーマ）

1. AWSとNotebookを使った検証自動化
2. 自動資産管理棚卸ツール
3. マルチCDNにおける運用ツール
4. pcapファイル解析手法の改善と可視化
5. ChatOpsによるトラブルシューティング
6. テレメトリによるTrafficの可視化
7. NW構築の工程を全自動化する

※成果物発表資料はこちらで公開しています。

<https://drive.google.com/drive/u/0/folders/1Z1R4fcrWW75BCVkfFoLCEZ6-xUTFiHmZg>

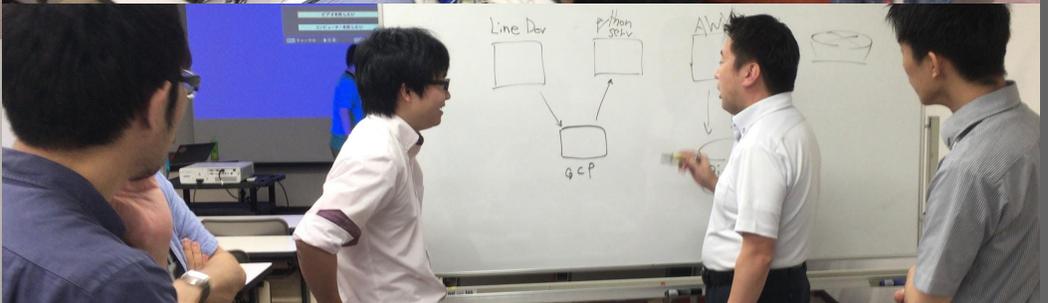
ラボ構成：構成図（JPNIC様より環境を提供いただきました）



Arista vEOS : EOS 4.20.10M
Juniper vSRX: JUNOS 18.4R1.8
Cisco XRv : IOS-XR 5.2.2

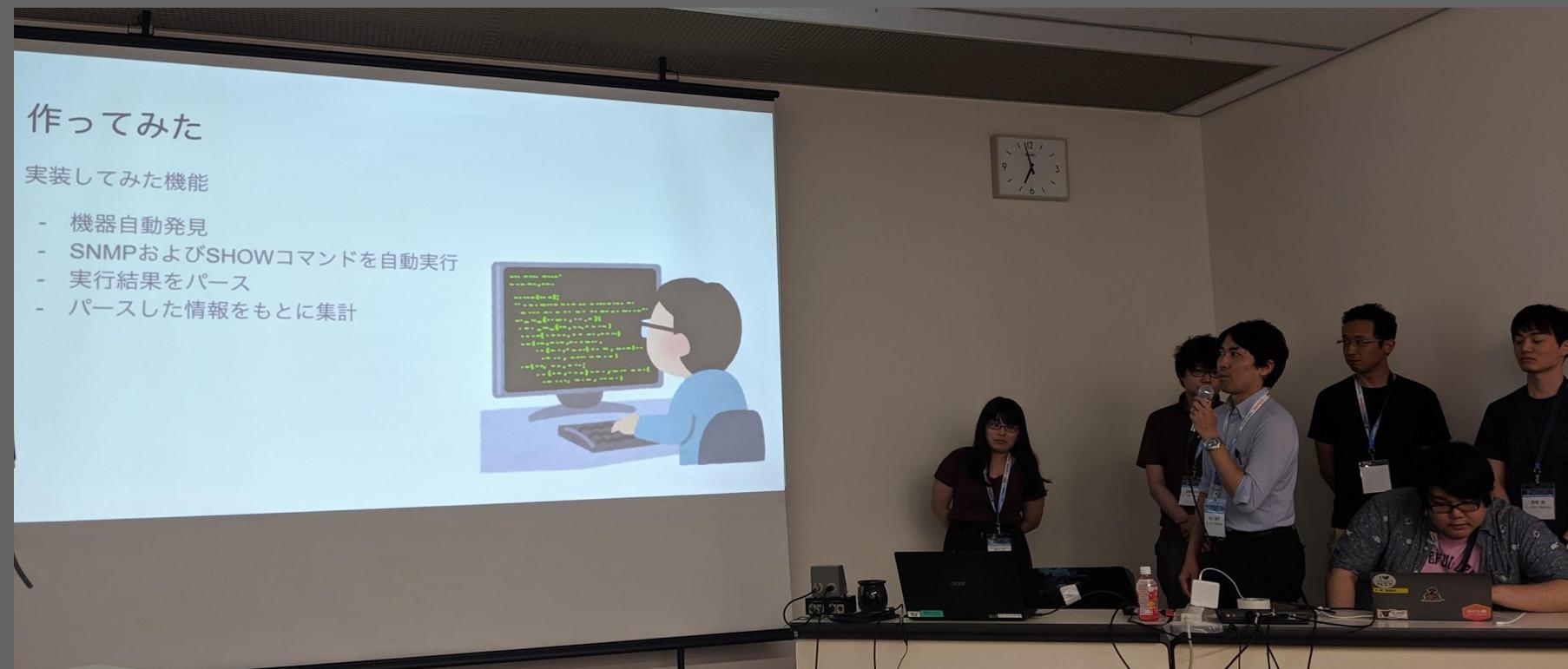
- ・各プロジェクトで必要なリソースを上記からアサイン
- ・参加者は、Jumpサーバ経由で各リソースのマネジメントにアクセス
- ・マネジメントセグメントは、NAT経由でグローバルへ到達可能

当日の風景



成果発表会

参加者&スタッフによる投票は、
Slackのreaction機能を使って集計しました。



HidekiSato 5:27 PM

LC4RI Notebook

👍 19 🗨️+

HidekiSato 5:28 PM

自動資産管理棚卸ツール

👍 29 🗨️+

HidekiSato 5:28 PM

マルチCDNにおける運用ツール

👍 13 🗨️+

HidekiSato 5:28 PM

pcapファイル解析手法の改善と可視化

👍 13 🗨️+

HidekiSato 5:29 PM

ChatOpsによるトラブルシュート

👍 23 🗨️+

HidekiSato 5:30 PM

テレメトリ

👍 17 🗨️+

HidekiSato 5:30 PM

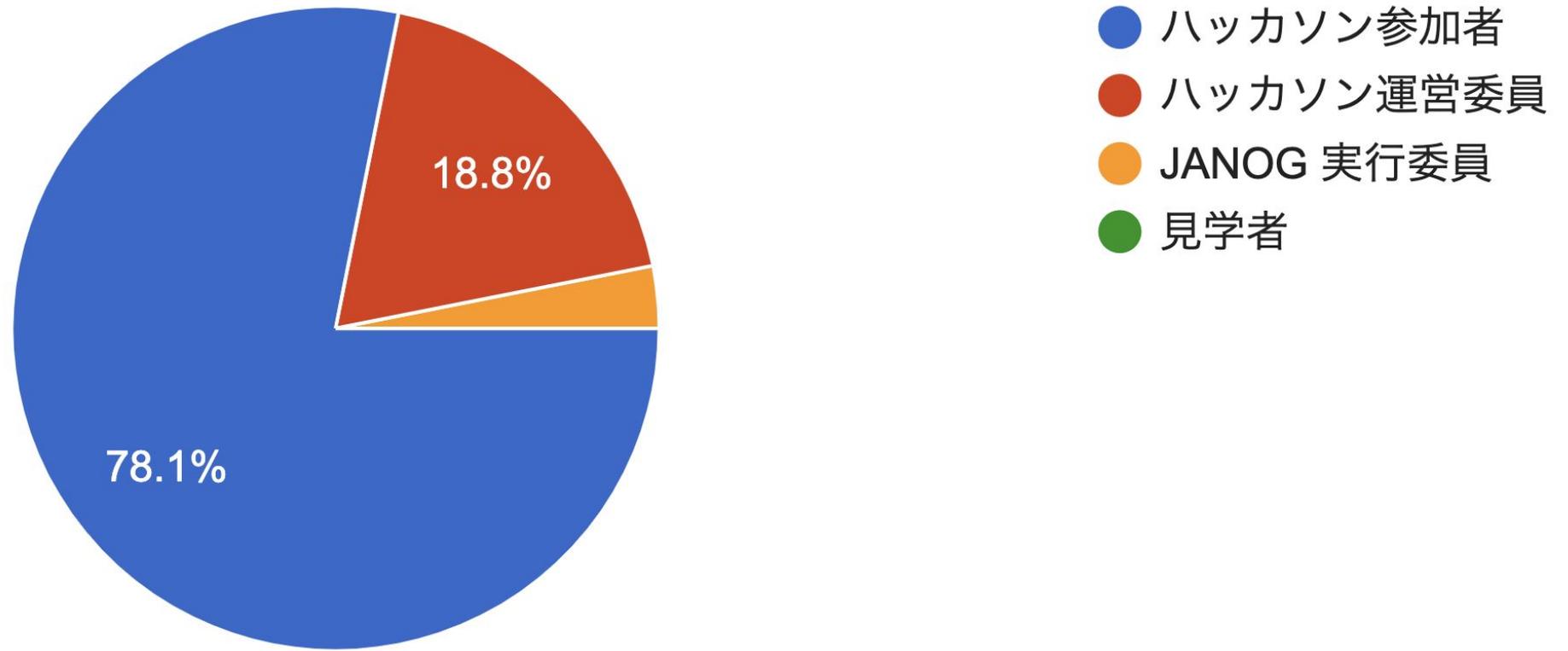
NW構築の工程を全自動化する

👍 21 🗨️+

ハッカソン参加者アンケート結果

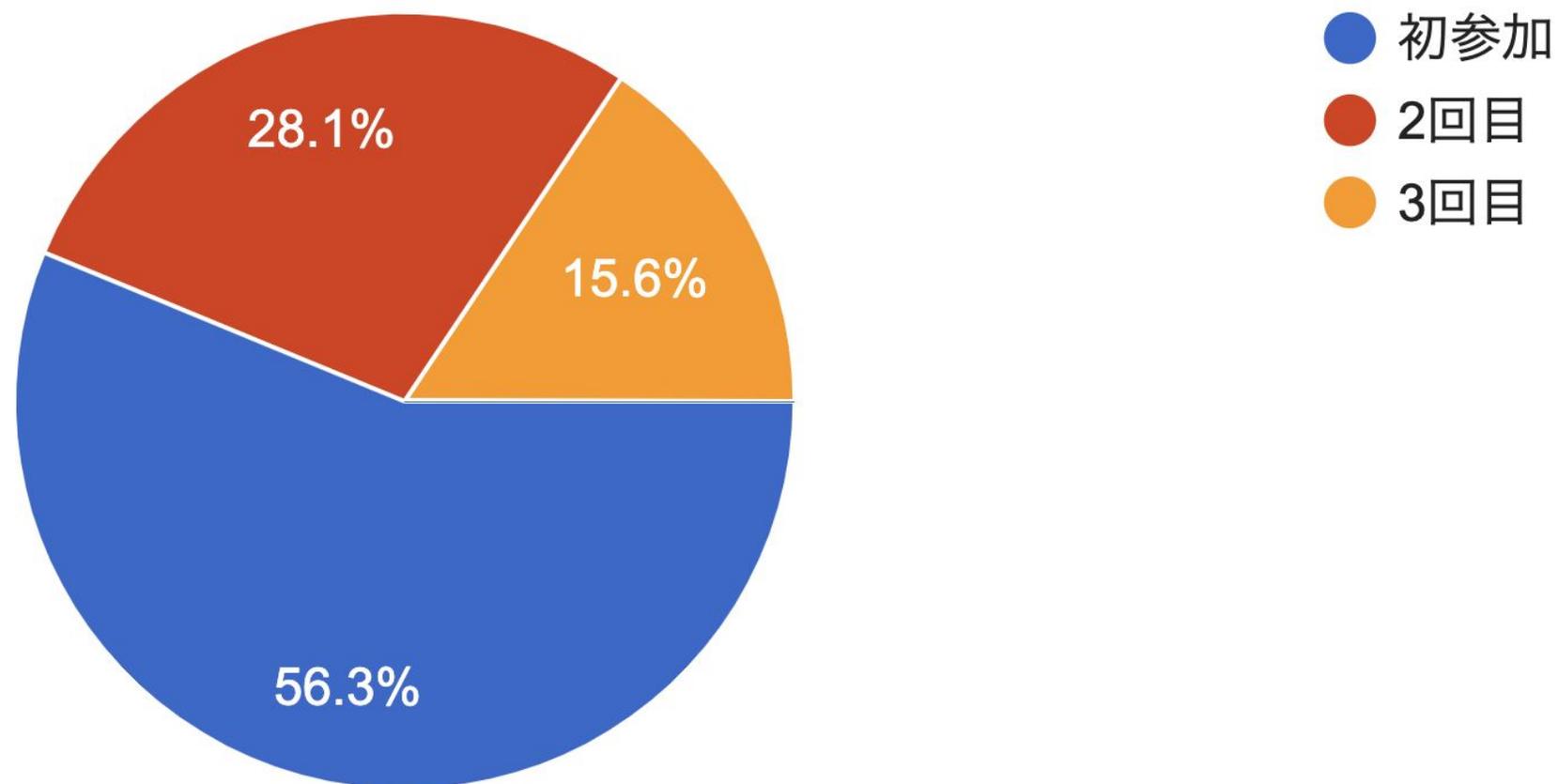
Q1. あなたの立場を教えてください

32 件の回答



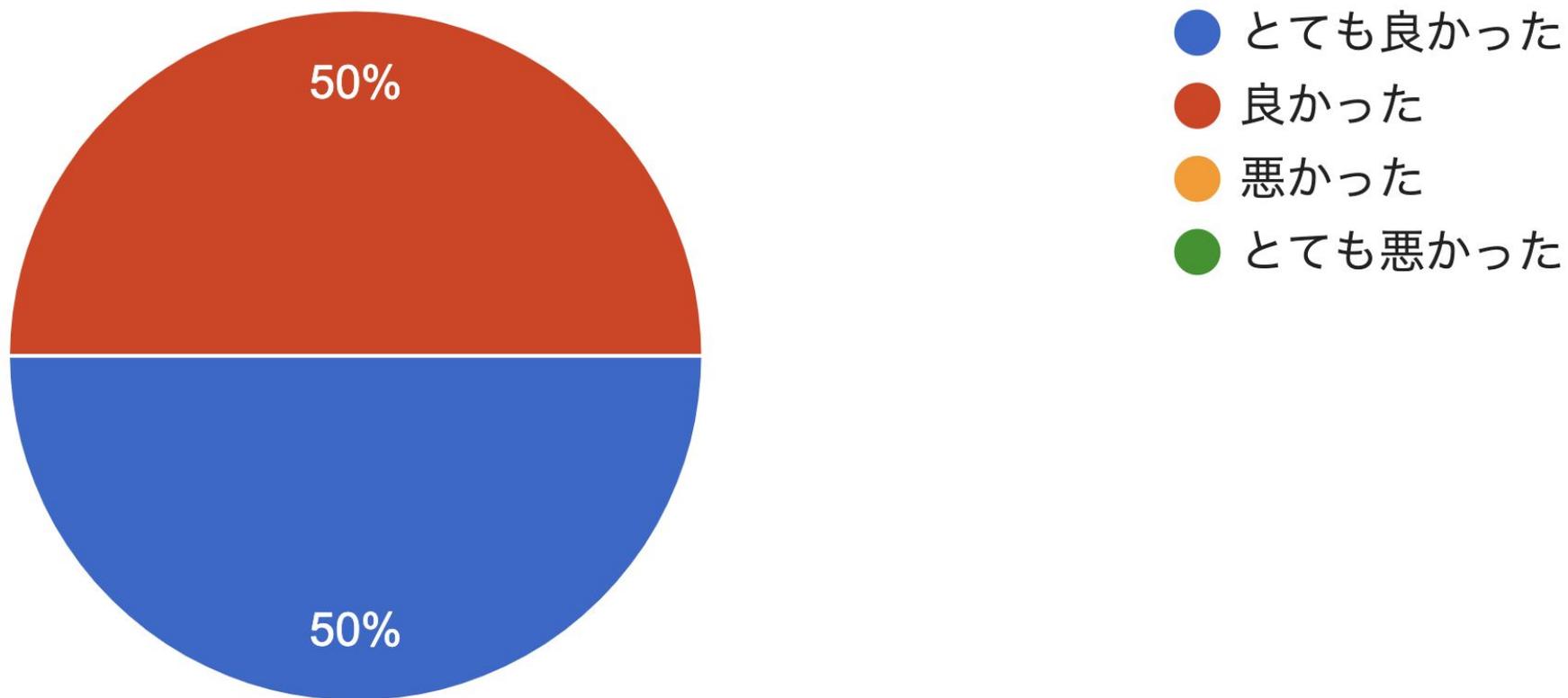
Q2. JANOGハツカソンの参加回数を教えてください

32 件の回答



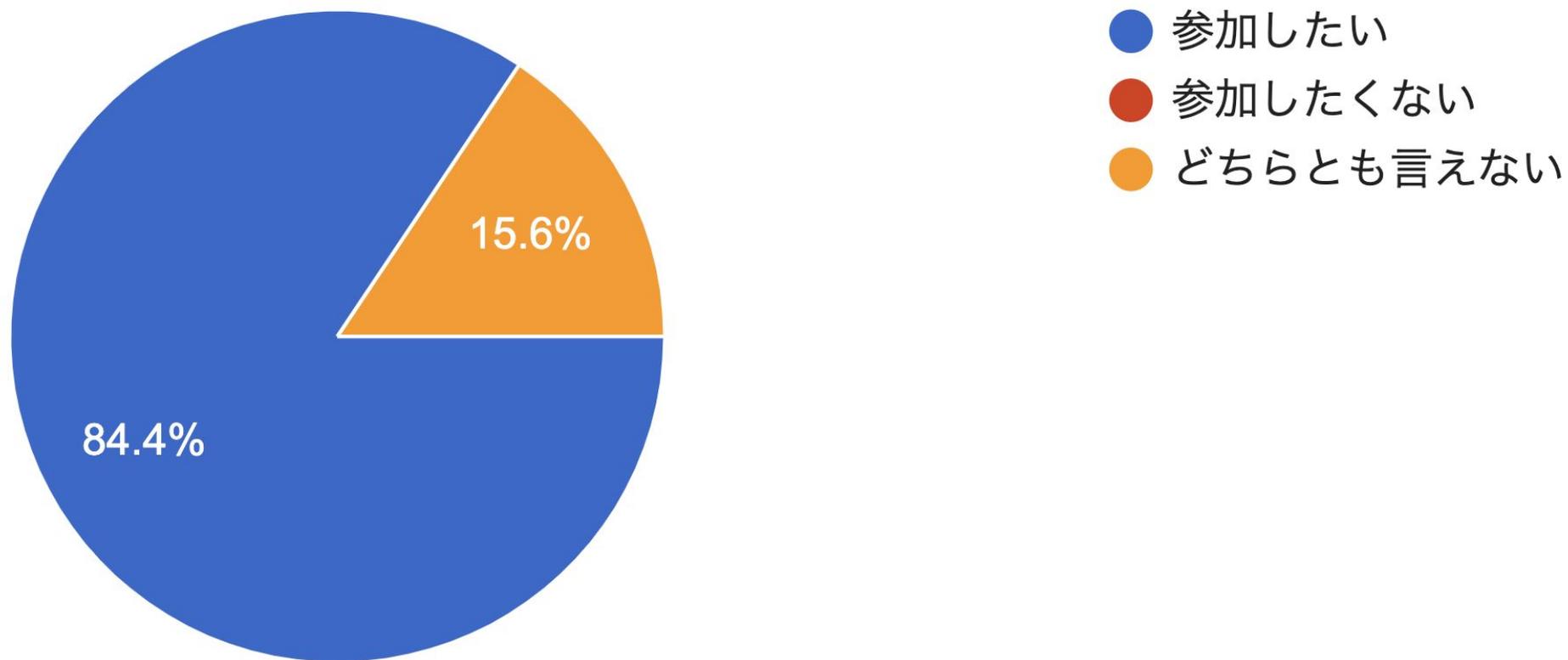
Q3. JANOG44ハッカソンの評価を教えてください

32 件の回答



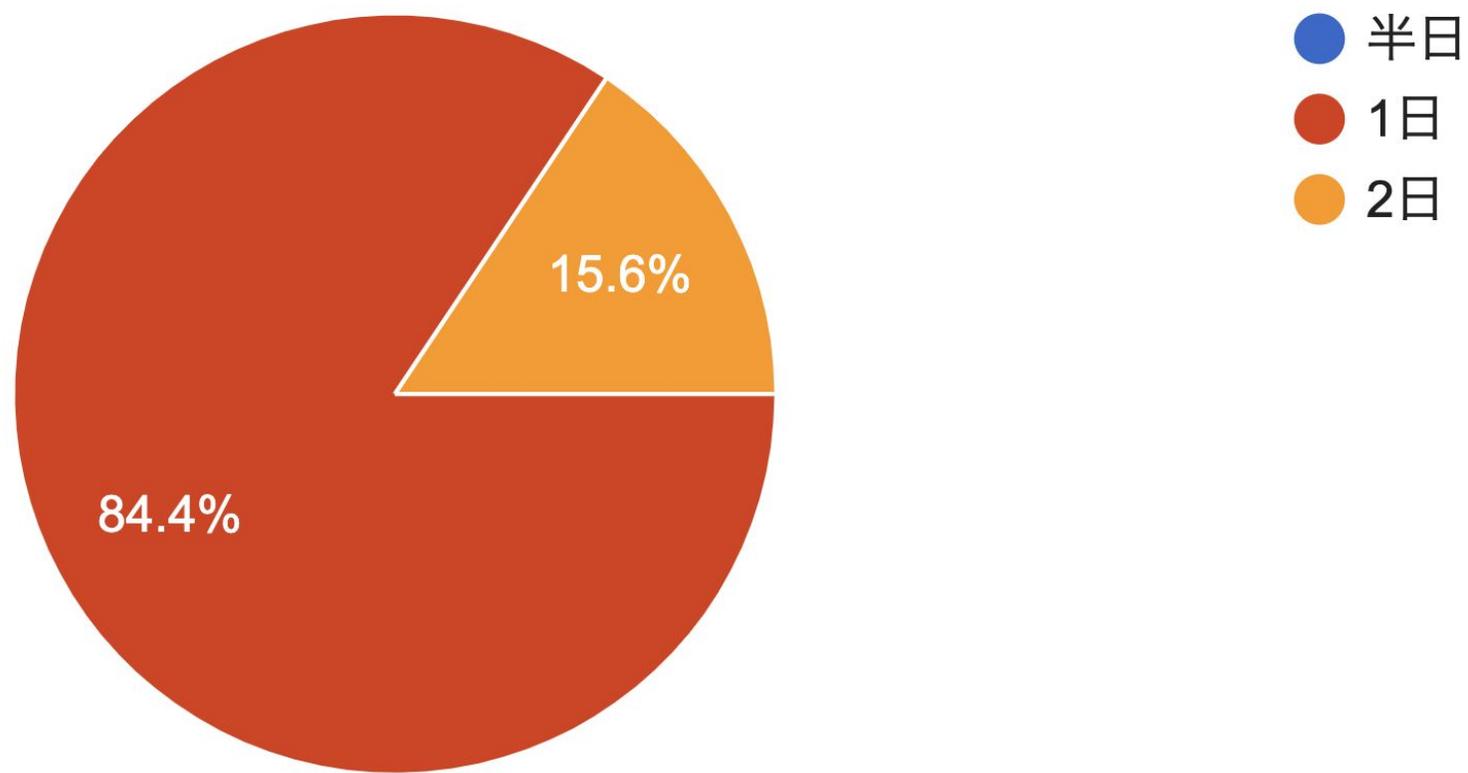
Q4. 次回JANOGハッカソンが開催されれば参加したいですか？

32 件の回答



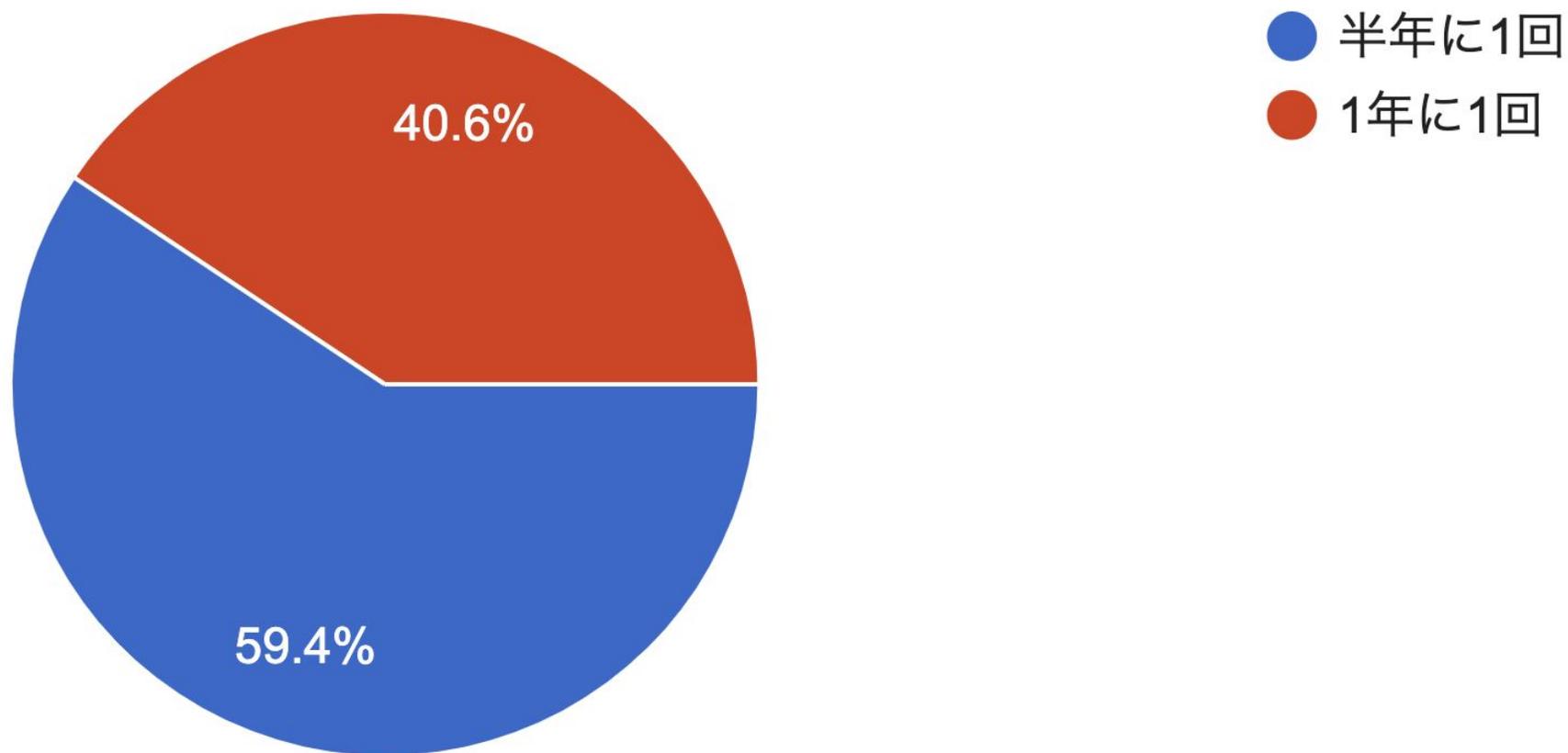
Q5. 適切だと思うハッカソンの開催時間を教えてください

32 件の回答



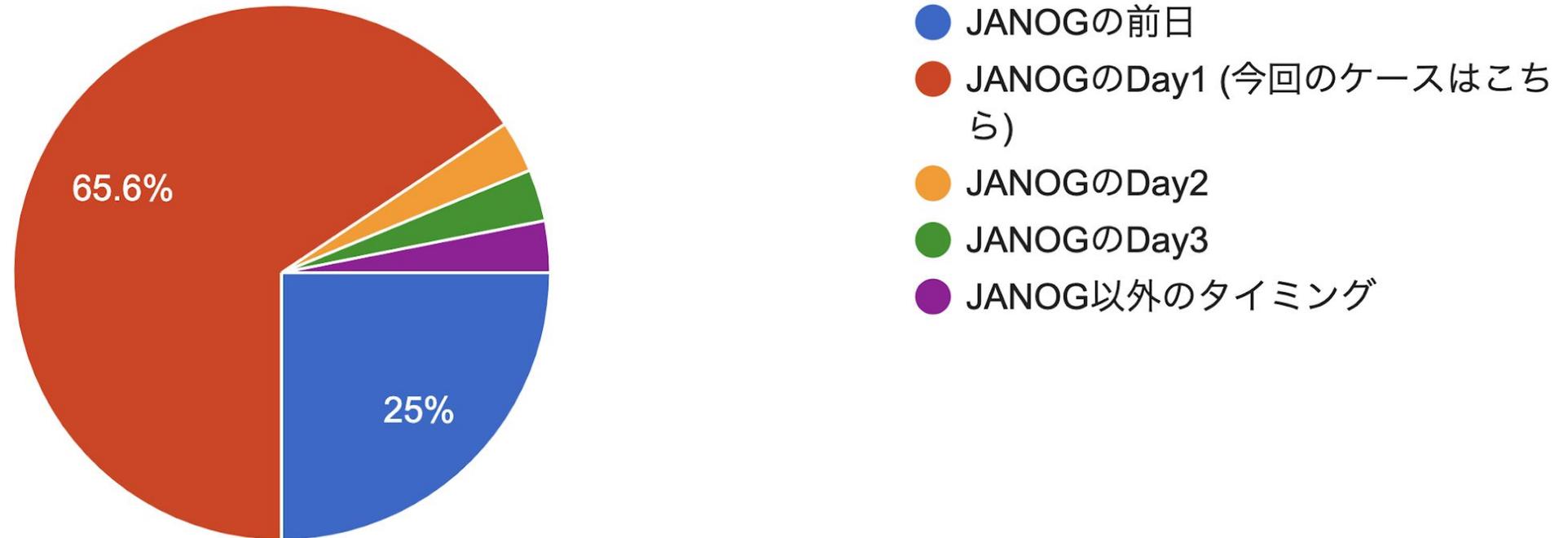
Q6. 適切だと思うハッカソンの頻度を教えてください

32 件の回答



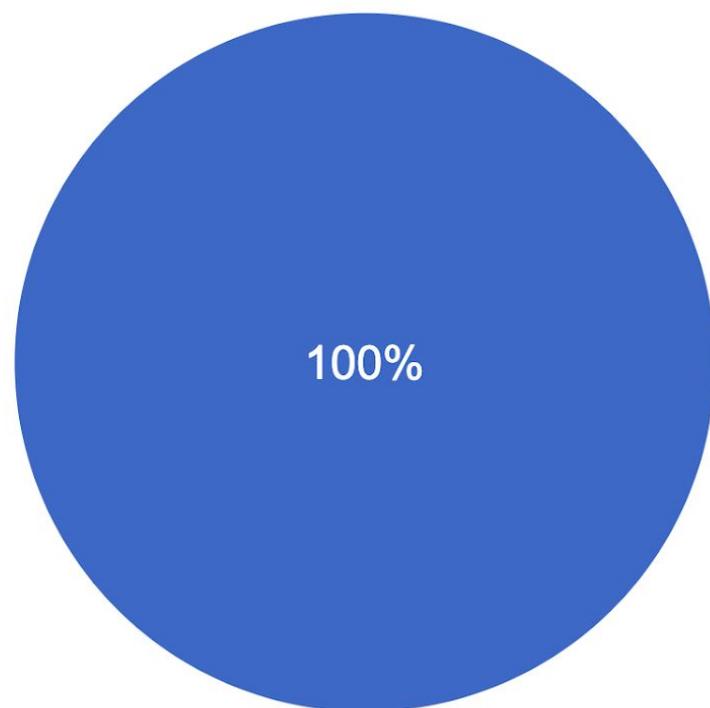
Q7. 適切だと思うハッカソンの開催のタイミングを教えてください

32 件の回答



Q8. ハッカソン運営委員の関わり方は適切だったでしょうか？

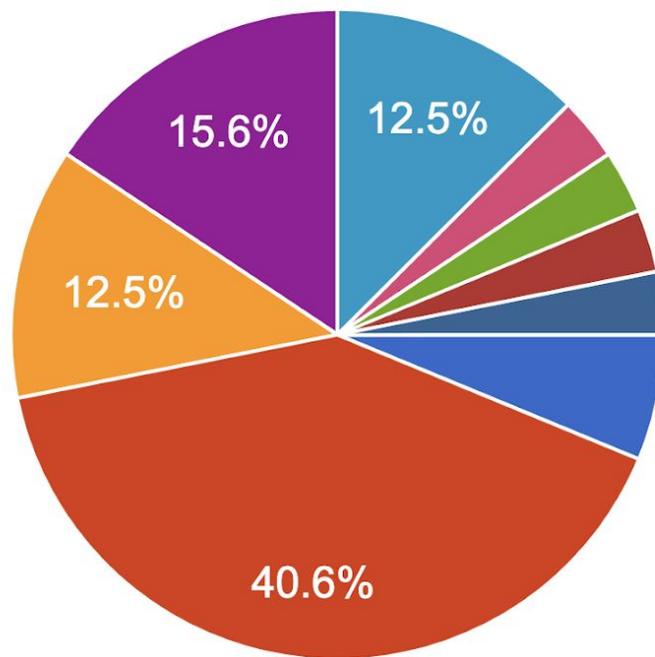
32 件の回答



- 適切だった
- もっと助けてほしかった
- もっと放っておいてほしかった

Q9. 運営が提供した開発環境はいかがだったでしょうか？

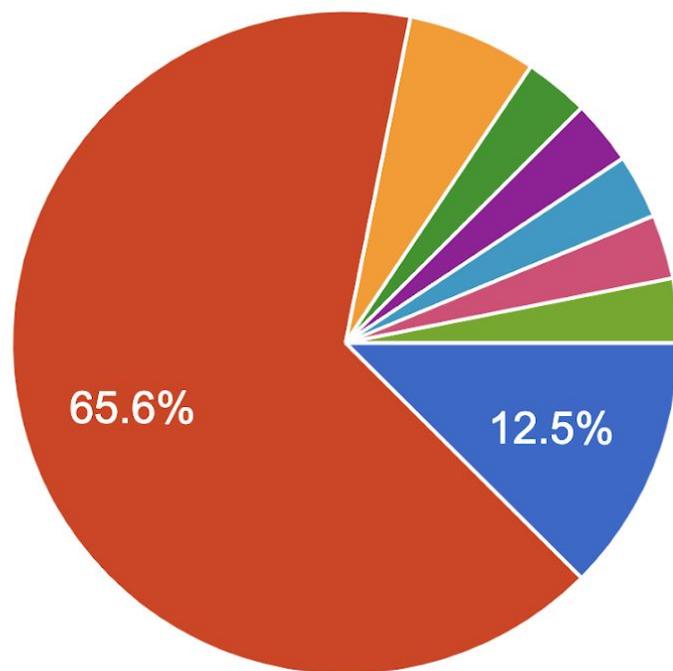
32 件の回答



- 利用したが、とても良かった
- 利用したが、良かった
- 利用したが、悪かった
- 利用したが、とても悪かった
- 不要だったため、利用していない
- 必要な構成でなかったため、利用...
- 不明
- docker on dockerが出来なかったの...
- dockerが使える環境が欲しかったか...
- 構築を実施

Q10. 当日の時間を最大化すべく、事前相談会を企画しました。いかがだったでしょうか？

32 件の回答



- 相談ごとがなかったため、参加しなかった
- 都合がつかず、参加しなかった
- 開催されていることを知らなかった
- やはり直前アナウンスだと難しいのかなと思いました。(momo)
- 事前に内容を詰めれていなかった...
- 運営側でした
- スタッフのため無回答ということで...
- 運営待機した

Q11. 運営側は「事前にできる相談・調整は事前にすませ、当日は時間を有意義に使ってもらいたい」と考えています。そのためのアドバイスがあれば教えてください

回答

あらかじめプログラムの時間は共有したほうが良いと感じました。

あらかじめテーマが決められていたほうが単独での参加がしやすいと思った

各Linux VMがDocker in Dockerなことなどを事前周知いただけるとありがたかったです。(事前相談会やSlackで相談していれば解決していたのかもしれませんが。

どういう環境がほしいかというのを申し込みのときに記載できたらよいかと。環境ができるかは別ですが。

お昼休み予定を事前共有して欲しいです。今回などは事前におくと効率が良かったため。

事前相談会で良いと思いますが、もう少し周知が早ければ良かったと思います。

準備受身になってしまいすみません。

使うツールをヒアリングし、動作確認したい。(ラボ環境を使う人について)

Q12. 参加して良かったと感じる点を教えてください

回答

集中して開発できる環境は非常に大事だと感じます

自分の知らない知識をたくさん仕入れることができた

どのテーブルもちゃんと作業していたように見えたので、それぞれでなにかしらの実りはあったのではないかと思います。

日頃の会社内のしがらみにとらわれない、柔軟なことができるのがとてもよかったです。

利用したことないツールの使い方を知れた

日頃取り組みにくいテーマに徹底することが出来た。

様々なジャンルに興味を得られた。

集中して考えれるのでとても有意義な時間だった

スタッフさんがいろいろと気を使ってもらいました。

色々な方とワイワイ出来て楽しい。

参加者(ハッカソン以外のJanog44 Staff)と繋がれた、協力してもらえた

他社の参加者との交流

ハッカソン経験のない同僚に体験させられた

Q12. 参加して良かったと感じる点を教えてください (cont...)

回答

前回より開発時間が長く設定されていたので、比較的余裕もって挑むことができました

他社のメンバーとコミュニケーションを取りながら進められる所

開発だけに一日集中できる環境に身を置いてよかった

自分の知識が不足していることがわかったこと。他の方の工夫や苦勞が聞けたため非常に有意義だった。

1日がっつり作業をすることが出来て良かったです。

他社の方と一緒に開発してみて、自社オンリーチームとは違った楽しさがあった。

他社のチームでの普通の感覚を感じることができた。Prometheus使ったことないが、「触ったことがある人は多いと思います」など

環境用意で当日もわりと作業があってよかったです

開発に没頭できる、交流できる

流行りのツールと課題が一堂に会するのが刺激的だった

他社の取り組み、抱える問題点について情報交換できた

Q13. 参加して悪かったと感じる点を教えてください

回答

致し方ない部分ですが、ラボ環境依存の課題には悩まされる点です

環境構築に時間がかかってしまう点

出たいBoFがあった...

午前中wifiが遅かった

本題以外のところでハマることが多い

ライセンスが絡むほ情報があったため、広く協力をえられなかった

特にはないですが、JANOG Day1に参加出来なかった点。

ちょっと会場が寒かった。最後は上着着てたけどスタッフだと上着着ていいのか迷う

他の参加者の方とコミュニケーションを取る時間を持てなかった。次回移行で改善したい。

Q13. 参加して悪かったと感じる点を教えてください(cont…)

回答

あまり他の参加者と交流していなかった

ラボ環境構築自動化について何かしようと思いましたが結局何も出来ませんでした。

どなたかのご操作かもしれませんが、googleシートに書いていた自分のテーマが、いつのまにか消されてしまっていて悲しかったです(書き直しました)

Dockerの使えないラボ環境

運営側です。特にありませんが、開発環境について要望をたくさんもらいました。予算枠があれば...もう少し選択肢があったのでは?と思うところはあります。

Q14. 次回開催するにあたり、改善ポイントなどのアドバイスがあれば教えてください

回答

お昼が食べられるところがもう少し豊富にある場所だとよりいいなと思いました。

おすすめの昼食場所を紹介してもらえると嬉しい

発表後？どうしたらよかったとかレビューとかアドバイスとかもらえるような環境だったりがあるとよいかも。ここに来ないとえれないものがほしい

お菓子もっとほしい

サーバーに関しては、コンテナ環境で使われることを前提に環境を用意して頂きたい。

通路はもう少し広い方が良くかな。。。甲府ぐらいには。前向きに並んでる固定席を減らして、島を2列にしてもよかったかも。移動させるの大変だけど

踏み台サーバだけでなく、環境構築用のansibleサーバがあると事前にgitにplaybookあげておいてサクッと作ったり出来るんじゃないかなと思う。

事前準備をよりしておくこと

VEOSは何かミスがあったようなので次回は確認気をつけます。

今どきのツールをある程度調べ、それらが動く環境を用意する。

Q15. 自由コメントをお願いします

回答

KPT みたいなことやりたいですね。

またきます

非常に楽しませていただきました。機会がありましたら、次回も参加したいと思います。ありがとうございました。

ありがとうございました！次回あれば是非また参加させてください。

ありがとうございました！来れるかはおいとして2日間でやってみたい。

時間があれば、また参加したいです。

大変楽しく参加できました、ハッカソンスタッフの皆さま、ありがとうございました！

スタッフの方々、準備ありがとうございました。おやつとドリンクもありがとうございました。

とても楽しいハッカソンでした！運営の方々ありがとうございます。今後の開催も楽しみにしています。

雰囲気だけでも感じる事ができてよかったです！

環境の用意の甘いところがありすみません。次があれば改善して対応したいと思います。

かなりこなれてきたツールである Dockerがラボで動かず、3~4チームくらいの手を止めてしまったのは本当にダメだった。でも、仮想環境のリソースは非常に節約できたのでコンテナでサーバーを提供することは続けたい。

非常に勉強になりました。また是非参加したいと思います。

Thank you JANOG44 Hackathon!!

